科目コード	51410	授業科目	母性・小児保健看護特論 I Maternal Child Health Nursing Theory I	担当教員	○永島すえみ 未定（母性）
開講年次	博士前期課程 1 年次前期	単位数	2 単位	科目分類	専門科目・特論
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30 時間	授業形態	講義
授業概要	生涯発達の視点から子どもと女性・母親および彼らと生活を共にする家族の健康問題や国内外の母子保健看護上の今日的課題を理解できるように、幅広く関連ある概念と諸理論を学ぶ。また、彼らの健康をアセスメントし評価する方法と技法、および解決方法や支援方法の基礎となる最新の理論について学ぶ。				
到達目標	1．国内外の母子保健看護上の課題と健康問題、その背景を説明できる。 2．諸理論を用いて家族発達について説明できる。 3．女性の健康に関する現在の課題について説明できる。 4．子どもおよび女性の健康状態のアセスメントと評価の方法を述べることができる。 5．子どもと両親、女性、家族の健康問題に対する支援、問題解決方法を説明できる。				

回数	授業内容及び計画	担当者名
第 1 回	国際、日本、および沖縄における母子保健看護上の課題	永島すえみ
第 2 回	子どもとその家族の権利保障と Family-centered Care	
第 3 回	資源、医療サービスと母子保健看護上の課題との関係	
第 4 回	人間の生涯発達の視点からの健康上の課題解決方法の探索	
第 5 回	家族に関する諸理論の理解	
第 6 回	子どもの自己概念・自尊心の発達	
第 7 回	成長、発達、健康状態の専門的アセスメント方法と技法および評価の理論	
第 8 回	評価に基づく支援方略の理解	
第 9 回	リプロダクティブ、ヘルス／ライフの理解①	未定
第 10 回	リプロダクティブ、ヘルス／ライフの理解②	
第 11 回	母子と家族の変遷および健康問題と支援	
第 12 回	Woman’s Health とリサーチ	
第 13 回	Woman’s Health とリサーチ	
第 14 回	母子関係とリサーチ	
第 15 回	母子保健看護の今後の方向	

テキスト	Hockenberry & Wilson (eds).(2011).Wong’s Nursing Care of Infants and Children 9th .Mosby.
参考文献	必要に応じて参考書、文献等は別途指示する。
成績評価の方法	授業への参加状況、討論への貢献度、レポート等により総合的に判定する。
備考	各教員が専門的立場から集中講義方式で行なう。事前に課題を提示する。各自文献講読により準備をし、各自の発表と討論により理解を深める。

科　目 コード	51420	授業 科目	母性保健看護演習 Maternal Health　Nursing　Seminar	担当 教員	○未定（母性）

開講年次	博士前期課程 １年次前期	単位数	２単位	科目 分類	専門科目・演習	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60 時間				

授業概要	母性保健看護がエビデンスに基づいて実践できるよう重要な概念、理論を国内外の文献を批判的に講読し分野の知識を深め、研究課題や実習課題を明確にできるようにする。
到達目標	１．母性保健看護における重要な概念を理解することができる。 ２．文献検討・事例検討により母性保健看護分野の知識を深め、研究方法や問題解決方法について理解できる。 3. 文献検討や事例検討を通して看護実践上の重要課題を導くことができる。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第１・２回	日本の産科医療の現状（ディスカッション）	未定
第３・４回	妊産婦の身体的な健康上の問題に関する文献検討	
第５・ ６回	妊産婦の心理社会的特徴と看護問題に関する文献検討	
第７・８回	母子関係に関する文献検討	
第9・ 10回	ハイリスク妊産婦に関する文献検討	
第 11・12 回	同上（レポート１：第１回から第 12 回までの中から関心のあるテーマについてレポート作成・提出）	
第13・14回	ハイリスク褥婦に関する文献検討	
第15・16回	褥婦の心理社会的問題に関する文献検討	
第17・ 18回	ハイリスク新生児に関する文献検討	
第19・ 20回	ハイリスク妊婦及び新生児管理の地域との連携に関する文献検討 （レポート２：第 13 回から第 20 回までの中から関心あるテーマについてレポート作成・提出）	
第 21・22 回	思春期女性の保健看護上の問題に関する文献検討	
第23 ・24回	同上	
第25・ 26回	更年期女性の健康問題に関する文献検討	
第27・ 28回	婦人科疾患をもつ女性の看護問題に関する文献検討 （第 22 回から第 28 回までの中から関心のあるテーマについてレポート作成・提出）	
第29回 ～ 30回	総括	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配布する。
参考文献	国内外の文献を中心に批判的文献講読を行なう。
成績評価の方法	評価は授業への参加状況、授業態度、プレゼンテーション、レポート等を総合して行なう。
備　考	

科目コード	51421	授業科目	母性保健看護実習 Maternal Health Nursing Practicum	担当教員	○未定（母性）

開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目分類	専門科目・実習	授業形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				

授業概要	医療機関、行政機関、福祉保健所・市町村の保健センター、それぞれの現場が直面している母性保健看護管理上の課題解決のため、母性保健看護特論Ⅰ及び母性保健看護演習の学習を基に、生涯発達保健看護的視点から現場における課題解決技法を学習する。ケースを担当し、アセスメント能力、ケアの質の評価、調整能力などスーパービジョンを受けながら実習する。
到達目標	1.看護の難しい妊産褥婦と家族ならびに女性一般の看護問題を特定できる。 2.生涯発達的視点から妊産褥婦と家族ならびに女性一般のケアを計画できる。 3.妊産褥婦と家族ならびに女性一般へ教育を計画し、実施できる。 4.妊産褥婦と家族ならびに女性一般への看護を実践し、分析・評価できる。

回数	授業内容及び計画	担当者名
第1週	母性保健看護領域の中から興味のあるテーマに適切な実習施設・機関・場を決定し、実習計画を立てる	未定
第2週	臨床実習	
第3週	臨床実習	
第4週	臨床実習	
第5週	分析および報告書作成 興味のあるテーマと実習施設の例 例1．リスクのある妊産褥婦の総合的ケア：県立南部医療センター・こども医療センター 例2．リスクを持った新生児とその家族のケア：県立中部病院 NICU 例3．ハイリスク妊産褥婦の心理過程分析と指導：県立中部病院周産期病棟 例4．NICU 入院時から退院後までの母児の総合的観察・評価と育児支援：県立中部病院、南部医療センター・こども医療センター 例5．その他、テーマにあった実習施設	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配布、指示する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを配布する。
成績評価の方法	院生は実習指導教員及び施設の実習指導者と連携を取りながら実習を行う。実習終了後、学習したことをレポートとして提出する。評価は実習への参加状況、実習態度、成果に関するレポート等の提出及び施設の実習指導者の情報等を参考に総合的に行う。
備考	

科　目 コード	51425	授業 科目	小児保健看護演習 Pediatric Health Nursing Seminar	担当 教員	○永島すえみ 上原和代

開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・演習	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間				

授業概要	健康児・リスク児と家族を保護看護の立場から支援できるよう広く理論や概念を学習する。すなわち、小児の発達と家族との関係、成長・発達のアセスメントと評価、支援方法、小児保健・制度、医療環境に関する最近の知識を学び、質の高い支援システム構築を探究する。
到達目標	1．子どもとその家族の保健看護上の支援に必要な重要概念を特定でき、説明できる。 2．各重要概念について評価の方法を科学的に説明できる。 3．各重要概念について保健看護上の支援方法を科学的に説明できる。 4．小児保健・制度と医療環境に関する最新の知識を理解する。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第 1― 3 回	小児保健看護活動における基本概念の理解と応用 1）子どもの自己概念における評価及び看護の方法	永島すえみ 上原和代
第 4― 6 回	2）子どものストレスとコーピング・防衛機制における評価及び看護の方法	
第 7― 9 回	3）子どもの喪失と親や家族の悲嘆における評価及び看護の方法	
第 10―12 回	4）親や家族の喪失と子どもの悲嘆における評価及び看護の方法	
第 13―15 回	5）子どもの恐れと痛みにおける評価及び看護の方法	
第 16―18 回	6）小児保健看護活動上のコンサルテーションにおける評価及び看護の方法	
第 19―21 回	7）小児保健看護活動上のコーディネーションにおける評価及び看護の方法	
第 22―24 回	8）小児保健活動上の教育と指導における評価及び看護の方法	
第 25―27 回	9）子どもの発達及び養育環境の評価と応用	
第 28―30 回	10）子どもの身体的アセスメントの特徴と方法	

テキスト	Hockenberry & Wilson eds.Wong's Nursing Care of Infants and Children. 8th .Mosby,2007
参考文献	参考書、文献等は別途指示する。
成績評価の方法	プレゼンテーションとディスカッションへの貢献度で評価する。
備　考	各テーマについて文献検討し、最新の知見の概要および状況をまとめ、それらに対する自分の意見や疑問点を整理し、レポートにまとめておく。

科　目 コード	51426	授業 科目	小児保健看護実習 Pediatric Health Nursing Practicum	担当 教員	○永島すえみ 上原和代

開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	4単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				

授業概要	地域や病院、施設などで生活する子どもと家族の健康上の問題解決のため、母子保健看護特論及び小児保健看護演習の学習を基に、現場の課題の解決方法を生活環境と関連して生涯発達保健看護の視点から探索し実習する。
到達目標	1. 興味あるテーマの子どもとその家族をアセスメントし、保健看護上の課題を特定できる。 2. 生態学的視点・生涯発達的視点から子どもとその家族のケアを計画できる。 3. 子どもと家族への支援を計画し、実施できる。 4. 小児保健看護における倫理問題とその解決方法について1事例を分析できる。 5. 小児保健看護における調整機能とコンサルテーションの技法を実践できる。 6. 看護を実践し、その結果を分析、評価できる。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
第1週	原則：保健、医療、福祉のうち2つ以上のフィールドを経験する。 例．保健と医療 小児保健看護領域のうち学生が興味あるテーマを特定し、実習計画（到達目標を含む）を立てる。	永島すえみ 上原和代
第2週	臨地実習	
第3週	臨地実習	
第4週	臨地実習	
第5週	分析および報告書作成、発表（3日間） 興味あるテーマと実習施設の例 例1．　保健のフィールド：市町村 例2．　がんの子どものケア：県立南部医療センター・こども医療センター 例3．　障がいをもつ子どもと母親への看護：沖縄南部療育医療センター 例4．　健常な小児の成長発達の評価と発達支援：保育園	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配布、指示する。
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを配布する。
成績評価の方法	・実習への参加度、実習中の態度と学習目標到達度、報告書と発表のレベルなどを総合的に判断する。
備　考	

科　目 コード	51431	授業 科目	母性・小児保健看護特別研究Ⅰ Maternal Child Health Nursing Special Study　Ⅰ	担当 教員	◎未定（母性） ◎永島すえみ 上原和代

開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	8単位	科目 分類	専門科目・特別研究	授業 形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240時間				

授業概要	母子保健看護領域において院生が自ら研究課題をみつけ、文献検討、研究対象と方法、技法を選択し、データを収集し、結果を分析、考察して論文を完成することを学習する。この過程から学問をする態度、倫理性、科学的思考、学問を通しての社会的貢献などを学習する。
到達目標	1. 研究プロセスを理解し、研究指導教員の指導の下に実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現法などの基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 研究する者として必要な倫理的態度を身につける。

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
1年次	4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定 ＊ 履修指導、履修届の提出 ＊ 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討 ＊ 研究倫理審査申請 ＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析	未定（母性） 永島すえみ 上原和代
2年次	10月（4月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討 ＊ 主査・副査の決定 考察･論文作成 12月（6月） 修士論文 第1稿 ・ 学位審査申請書の提出 ＊ 1月（7月） 中間発表会 ＊ 修士論文 最終稿 の提出 ＊ 2月（8月） 論文審査・最終試験 ＊ 合否および修了判定 3月（9月） 公開発表会 ＊ 修士論文 保存版 の提出 ＊ ※（　）内は、前学期修了者の日程	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配布、指示する。
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示し検討する。
成績評価の方法	審査委員会により論文審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。
備　考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものです。したがって、各自掲示には十分注意を払ってください。 ◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員です。

科　目 コード	51432	授業 科目	母性・小児保健看護課題研究 Maternal and Child Health and Nursing Problem Study	担当 教員	◎未定（母性） ◎永島すえみ 上原和代
開講年次	博士前期課程 1～2 年次	単位数	8 単位	科目 分類	専門科目・課題研究
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240 時間	授業 形態	演習
授業概要	母子保健看護領域に関連した現場の中で自ら選択する課題に焦点をあて、課題に関する最新の知識を収集し理解した上で、問題解決の方法と技法を考究し、実践の結果を分析、考察して報告書を作成する。				
到達目標	1.研究指導教員の指導の下、課題を発見し、問題解決方法や技法を考究し、実施できる。 2.データ収集・分析、文章表現方法など基本的技法やマナーを習得できる。 3.論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4.実践家として必要な倫理的態度を身につける。 5.専門職者として生涯学習する態度を身につける。				

回　数	授　業　内　容　及　び　計　画	担当者名
1 年次	4 月　入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定 ＊ 履修指導、履修届の提出 ＊ 関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成 毎月　研究計画検討会・・・研究計画書の検討 ＊ 研究倫理審査申請 ＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析	未定（母性） 永島すえみ 上原和代
2 年次	10 月（4 月）　研究結果検討会・・・研究結果の検討 ＊ 主査・副査の決定 考察･論文作成 12 月（6 月）　課題研究 第 1 稿 ・ 学位審査申請書の提出 ＊ 1 月（7 月）　中間発表会 ＊ 課題研究 最終稿 の提出 ＊ 2 月（8 月）　課題研究審査・最終試験 ＊ 合否および修了判定 3 月（9 月）　公開発表会 ＊ 課題研究 保存版 の提出 ＊ ※（　）内は、前学期修了者の日程	

テキスト	関連資料、文献などを適宜配布、指定する。
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示し検討する。
成績評価の方法	審査委員会により総合科目試験、課題研究報告書の審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。
備　考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものです。したがって、各自掲示には十分注意を払ってください。 ◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員です。